

御嵩町青少年育成町民会議だより



11月12日(土)、3年ぶりとなる「青少年育成町民大会」を、中公民館で開催しました。

コロナ禍の影響による参加人数の制限もあって、同時開催を予定していた「可児郡PTA研究大会」は中止となり、町民大会も活動報告と講演会という規模を縮小した内容でおこないました。

御嵩町青少年育成町民会議の活動報告

青少年育成町民会議副会長の伊佐次利之^{いさしとしゆき}さんから、町民会議としての活動報告がありました。

さまざまな活動がある中で、とりわけ毎月第3日曜日(家庭の日)の翌日の朝におこなわれている「あいさつ運動」に力を入れているということでした。

名古屋にある高齢者大学の有志の皆さんが願興寺の見学に訪れた際、「帰りにすれ違った中学生が、元気な声で“こんにちは!”とあいさつをしてくれて、とても心が温まりました。御嵩町はとても素晴らしい街ですね」と言ってくださったエピソードなども紹介しながら、今後もあいさつ運動を中心に活動を進めていきたいと報告を締めくくられました。



▲伊佐次副会長

子育てに関する講演会を実施

講演会は、瑞浪市にある公益財団法人モラロジー道徳教育財団の生涯学習講師である吉村孜^{よしむら}さんをお迎えし、「子育てとは」という演題でおこなわれました。

「子育て四訓^{しよん}」や「子どもを育てる七つの言葉」など、具体的な事例を交えながらの話に、参加者からは「とてもためになり、これから心に留めて子どもに接していきたい」「よく分かる話で、何度もうなずいて聞いていた。すごく勉強になった」という感想が聞かれました。

参加人数の制限のため、当日は50人あまりの参加となりましたが、どなたも吉村先生の話に真剣に耳を傾けていました。



▲講師の吉村さん

※山口県の教育者が提唱した「子育て四訓」

1. 乳児はしっかり、肌を離すな
2. 幼児は肌を離せ、手を離すな
3. 少年は手を離せ、目を離すな
4. 青年は目を離せ、心を離すな



問い合わせ：
生涯学習課 生涯学習係
担当：瀬瀬^{せせ} (内線 2313)